

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.42

平成25年度

全小中学校PTA母親代表研修会



講演講師
貝瀬公弥氏

平成25年12月7日(土)、県立総合体育館柔道場において本研修会が開催され、470人余りの会員が参加しました。

午前中は三行詩表彰式・講演、午後は分科会を実施しました。

講演会では、(株)クローバー代表の貝瀬公弥氏をお迎えし「親が変われば子どもも変わる」～メンターが教える子育てが楽しくなる3つのポイント～と題してお話をいただきました。

お話の中で、「子どもを叱る前に自分の行動を振り返ったことはありますか?」「子どもの前でお父さん・お母さんのことをけなしたことはありませんか?」「子どもに『私の子どもに産まれてきてくれてありがとう』



動を振り返ったことはありますか?」「子どもの前でお父さん・お母さんのことをけなしたことはありませんか?」「子どもに『私の子どもに産まれてきてくれてありがとう』

う」という言葉を伝えたことがありますか?」といった講師からの問いかけに、自らを振り返りながら自問自答していました。

1日のうち、10分いや5分でも、子どもとちゃんと向き合っていたらどうか? 子どもに「ありがとう」って伝えているだろうか? 改めて考えさせられました。

せめて私自身が、「余裕」をもって穏やかな気持ちで「いつてらっしゃい」を伝え、送り出せるよう前向きにいかうと思いました。

最後に、子育てが楽しくなるための3つのポイントを紹介し、講演のまとめにかえさせていただきます。

「子育て」が楽しくなる

3つのポイント

- 「私の子どもは絶対よい子・絶対大丈夫」と思うようにする
- 「子どもは親の鏡」人を変えるのは難しいので自分が変わる
- 「目標を持つて前向きに頑張っている人」は輝いている

午後の分科会では、40余りのグループに分かれ、①講演の感想 ②子育てで悩んでいること ③ネット社会に対する家庭での対応の3つをテーマに、膝を突き合わせての意見交換を行うなど、みんなが主役の研修となりました。

(県P連 理事 庄野知子)

講演会・分科会

アンケートから

講演につ

いては、「あわただしい毎日の生活の中で見失いがちな母親としての役割に気がかされた。」

「もつと自分にゆとりをもつて子どもと向き合っていこう。」

「自分が変わらなければ子どもも変わらない。まずは自分が変わろうという前向きな気持ちになった。」などの自己反省的な感想が多くありました。

また、「自分を振り返り、自分と向き合ういいきっかけになった。」「これから子どもを怒ることが少なくなりそうだ。」「周りの人たちとのコミュニケーションづくりにも役立ちそうだ。」など、今後のあり方に関する感想もありました。

分科会では、「普段会って話すことのない他郡市の方々と同じ母親としての悩みを共有することができ、自分だけ悩んでいるのではないという安ど感を感じ心が軽くなった。」「さまざまな子育てにふれて参考になった。」など、会員の皆さんと心の交流ができたことに感謝されている様子がうかがえました。

(県P連 母親委員会)



第43回 中国ブロックPTA研究大会 広島市大会

期日：平成25年11月9日(土) 場所：広島サンプラザホール

平成26年度
中国ブロックPTA研究大会は
晴れの国 おかやま大会

「わしら、うちらが育てよう心・守ろう命。お互いさまじゃけえ。」の大会スローガンのもと、中国5県1市のPTA連合会・協議会から2500名余りの会員が集いました。

大会は、開会行事、スマホとの付き合い方についての実践発表、次期開催地の岡山県のPR、広島県警察音楽隊による華やかなアトラクション、そして講演でした。



記念講演講師 大棟耕介氏

記念講演
涙あり笑いあり
感動の90分！

NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会の理事長である大棟耕介氏の記念講演は、衝撃的でした。

「大人が笑えば子どもは笑う」子どもは空気を敏感に感じている。演題そのままに、会場全体が大きな笑いと感動でいっぱいになりました。

ホスピタル・クラウンの活動を通しての、思いやりの心を基本とした人のかかわり方や生き方についてのお話は、改めて人間関係における「笑い」という潤滑油の大切さや絆の深め方を学ばせていただきました。

広島市P協流
お・も・て・な・し

かなり早い時間にもかかわらず、高速度道の五日市インターチェンジから大会駐車場まで、ポイントごとに案内看板を持ったスタッフの方がおられ、迷わず会場まで到着することができました。

また、すがすがしいご挨拶や親切丁寧なご案内をいただくなど、自然体の「おもてなしの心」にふれさせていただきました。

今大会でお世話をいただいた運営スタッフの皆様のみならず、大会に参加いただいた皆様にも感謝申し上げ報告とさせていただきます。

(県P連 副会長 赤木俊二)



閉会挨拶 平田誠治県P連会長

広島市電子メディア協議会紹介

協議会は、「電子メディア・インターネット」を中心構成されており、会員数は約100名です。

主な活動は、各地域のPTA会員や青少年団体などを対象に、「ケータイ出前講座」やインターネット上の子どもたちの身守り活動などを実施し、電子メディアに潜む危険性の啓発や、電子メディアを上手に使いこなす子どもたちを育てる環境づくりに努めています。出前講座は、基本的に広島市内を中心に実施しています。詳細は次へお問合わせください。

広島市電子メディア協議会事務局
(広島市教育委員会 青少年育成部育成課内)
TEL(082)2422-2211 6
FAX(082)2422-2018

記念講演講師

菊地幸夫氏(弁護士)

日本テレビ「行列のできる法律相談所」等にレギュラーとして出演

期日 平成26年11月8日(土)
会場 岡山県玉野市総合体育館
テーマ 共に育てよう
夢と希望とやさしい心
子どもたちの未来のために

特集

改めて考えてみよう

保護者としてのあり方

「いじめ」の根絶と「いのち」の尊さを考えるために

平成24年9月、広島県PTA連合会では、「いじめの根絶と「いのち」の尊さを考えるメッセージを配布しました。

1年半余りが経過した今、子どもたちに「いじめは人間として絶対に許されない行為であること」「いじめは子どもたちの心身に深刻な影響を及ぼし、生命も奪いかねない人権にかかわる重大な問題であること」などのメッセージは届いているでしょうか。

教育の原点である家庭教育のあり方を改めて問い直してみるための「保護者のあり方」をお届けします。

保護者としてのあり方 7つのチェックポイント

□ 私たちは「子育ての第一責任者である」ことを認識し、いじめの未然防止のための役割を果たしているでしょうか？

□ いじめは絶対にいけないことだとの信念のもと、子どもたちといじめの問題について話し合っていますか？

□ 子どもたちと「いのち」の大切さ・尊さについて話し合い、子どもたちに教えていますか？

□ 子どもたちが発する「いじめのサイン」や「発見のポイント」を見逃さないために、日頃から子どもとのコミュニケーションに努めていますか？

□ いじめの早期発見のための努力をしていますか？

□ 発見したら速やかに対応できるよう日頃から、学校や相談機関等と連携していますか？

□ 可能な限り学校行事や地域行事に参加し、子どもの様子を把握するとともに、子どもとの会話や地域との連携に努めていますか？

□ 子どもが道徳心や規範意識を醸成できる家庭環境づくりに努めていますか？

□ また、学校の道徳教育について関心をお持ちですか？

「道徳教育」を身近なものにするために

○今、子どもたちを取り巻く環境はいじめや学級崩壊、家庭や地域社会の教育力の低下、生命尊重の心の乏しさ、規範意識の低下など、子どもたちの心と体の状況にかかわる課題は少なくありません。

○文科科学省では

道徳教育の見直しを検討している同省の有識者会議が、道徳を教科にするという報告案をまとめたというニュースが流れました。

今後は中央教育審議会の議論を経て、道徳教育の充実に向けて、教科化がめざされるようですが、子どもの心や内面をどう評価するのかとの懸念があるのも事実です。

○保護者としては

道徳教育の内容、道徳の教科化やそれに伴う評価、道徳の教材の「心のノート」に代わり全国の小中学校に配られる新教材「私たちの道徳」など、私たちはどれだけのことを知っているのでしょうか？

まず、保護者として十分な関心を持つことが求められます。そして子どもたちの道徳的成長を促すために、子どもたちを取り巻く諸問題の解決に向けて、学校とともにしっかりと向き合わなければなりません。

また、「道徳の授業への参加と協力」「地域教材や人材などの提供」など、学校への積極的なかわりを持たなければなりません。

一方、家庭においては、「礼儀、感謝や思いやりの気持ち、ルールを守るなどの規範意識を身につけさせる。」「子どもとの会話時間を大切にする。」「手伝いをさせ、家族の一員として頑張った時はほめる。」など、子どもとの関わりを大切にしたいものです。





祝 三行詩コンクール 広島県PTA連合会賞

昨年の12月に開催した母親代表研修会の開
会行事の中で、「三行詩コンクール」広島県
PTA連合会賞の表彰式が行われました。

前号(41号)で紹介させていただいた受賞
者のうち、廿日市市立宮内小学校4年の吉良
優羽さん、神石高原町立神石小学校3年の三
城聖冬さん、呉市立両城中学校3年の西村知
紗さん、世羅町立世羅中学校3年の坂川久紀
さん、呉市立広南中学校3年藤野花音さんと、
一般の部では神石高原町立神石小学校の福万
和枝さんの6名の方が参加されました。

表彰された男子中学生が、父親と一緒に表
彰式後の講演を聞かれています姿がとても印象
的でした。

来年度も多数ご応募いただきますようお願い
いたします。



受賞者 受付風景



受賞された方々(前列)

「心のきずな 61キャンペーン」 ご報告並びにお礼

日本PTA主催の義援金及び支援
金に係る募金活動の終了に伴い、平
成25年9月からは、東日本大震災で
保護者がなくなったり、行方不明
になられた児童生徒に対する就学助
成金の申請・受付をしていましたが、
11月末日をもって終了しました。

日本PTAとしては、新たに「教
育支援基金」を実施していますが、
広島県PTA連合会としては、この
基金の募金活動は、行わないことと
しました。

従いまして、今後は広島県P連を
通して日Pへの募金の振込は行いま
せんのでご了承ください。

これまで郡市P連をはじめ、会員
の皆様の長期にわたるご協力のお
かげで、期間中、県P連を通して
日本PTAへの募金振込総額は、
1200万円余りとなりました。

詳細につきましては、昨年12月18
日付け文書で郡市P連にお知らせし
たとおりです。

以上、ご報告させていただき、お
礼にかえさせていただきます。

(県P連 会長 平田誠治)



充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)や
アルバイトに起因する賠償責任も
対象となります。

●授業中やクラブ活動な
ど、校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償
はWプランのみ
対象です。



団体割引適用で 割安な保険料!

団体割引25%
損害率による割引25%適用で
個人で加入するより割安!
スクールメディカルデスク24でお子
様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のペイトネームです。

この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項
説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決
定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

平成25年7月作成 募文No13-T-02954



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問い合わせ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ広島
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社

TEL：0120-018-217
TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

共同引受保険会社

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社